

留学報告書

記入日:2020年04月23日

| 所属学部／研究科・学科／専攻 | 国際日本学部国際日本学科 |
|--------------------------|---|
| 留学先国 | デンマーク |
| 留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語) | 和文: コペンハーゲン大学 現地言語: Københavns Universitet |
| 留学期間 | 2019年9月～2020年3月 |
| 留学した時の学年 | 2年生(渡航した時の学年) |
| 留学先での学年 | 2年生(留学先大学で在籍した学年) |
| 留学先での所属学部等 | 人文学部 <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。 |
| 帰国年月日 | 2020年3月23日 |
| 明治大学卒業予定年 | 2022年3月 |
| 留学先大学について | |
| 形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他 |
| 学年暦 | 1学期:9月上旬～12月下旬 2学期:2月上旬～5月下旬 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬) |
| 学生数 | 37,493人 |
| 創立年 | 1479年 |

| 留学費用項目 | 現地通貨 (DDK) | 円 | 備考 |
|-------------|---------------|------------|---|
| 授業料 | 0 | 0円 | 大学間協定留学のため明治大学の学費のみ |
| 宿舍費 | 58,319 | 933,105円 | 11ヶ月契約分 |
| 食費 | 21,875 | 350,000円 | 5万円/月 |
| 図書費 | 428 | 6,860円 | kindle unlimited(月額980円)を利用 |
| 学用品費 | 1,062 | 17,000円 | ・授業によってはオンラインで全資料を閲覧でき、教科書を買う必要はありません。 ・オンラインで配布される資料をプリントアウトするとさらにコピー費がかかります。(前期はプリントアウトしていましたが、後期はPC上で閲覧していました) ・文房具類は基本日本から持参しました。 |
| 携帯・インターネット費 | 0 | 0円 | ・寮、大学はインターネット完備 ・大学で無料配布されたSIMを挿入するも機能せずfree wifiに接続して生活 |
| 現地交通費 | 6,250 | 100,000円 | 雨の日や極寒の日だけバイクを使用し、晴天の日には自転車で通学していました。 ・自転車レンタル:月額約2500円 ・バイク往復(寮-大学間):約600円 (<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車) |
| 教養娯楽費 | 25,000 | 400,000円 | ヨーロッパ12ヶ国22都市を旅行 |
| 被服費 | 2,500 | 40,000円 | |
| 医療費 | 0 | 0円 | 歯医者以外医療費は基本無料 |
| 保険費 | 6,145 | 98,330円 | 形態:明治大学指定の海外旅行保険プラン①(東京海上日動火災保険株式会社) ※留学期間が短縮されたため、一部返金された金額です。 |
| 渡航旅費 | 15,806 | 252,900円 | |
| ビザ申請費 | 250 | 4,000円 | |
| 雑費 | 1,250 | 20,000円 | 初期費用(布団、枕、シーツ、シャンプーなど) |
| その他 | 11,250 | 180,000円 | ・スマホを海に落とし、現地で調達 ・パソコンが故障し現地で修理 ※保険が適用され、帰国後保障されました。 |
| その他 | | 円 | |
| 合計 | 150,137 | 2,402,195円 | 7ヶ月間の総費用 (1kr=16円で計算しています) |

渡航関連

渡航経路

往路 出発地:成田空港 目的地:コペンハーゲン空港 経由地:タイ
 復路 出発地:コペンハーゲン空港 目的地:成田空港 経由地:(直行便)

渡航費用

①往復チケットを購入した場合

航空会社: _____

料金: _____

②片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社:タイ国際航空 料金:94,900 円

復路 航空会社:スカンジナビア航空 料金:158,000 円 ∴合計:252,900 円(帰りの便はコロナの影響で出発1週間前に急遽予約したため値段が高くなっています。)

航空券購入方法

旅行代理店(店名:明大サポート) インターネット(サイト名:skyscanner) その他()

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:Signalhuset Kollegiet) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

コペンハーゲン大学への留学申請の際に、Housing の項目で Yes を選択すると、大学指定の Housing Foundation という機関を紹介してもらえるので、その誘導に沿って 20 種類ほどの寮から希望のものを選びました。寮の申請に関しては、Housing Foundation が指定した日時に世界中の留学生が一斉に予約をし、先着順で契約が結ばれていくため、いち早く手続きを進めないと希望の寮を取れない可能性があります。

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

一人の時間も確保しつつ、あらゆる国の学生との共同生活を体験したい方にオススメの寮です。

300 人以上を収容する大規模な学生寮で、大半がコペンハーゲン大学の留学生、そのほか他大学に留学する外国人学生やデンマーク人学生も少数います。男女混合(自分では選べません)の 4 人で1フラット(1キッチン、1リビングルーム、2バスルーム)を共有します。インターネット完備で洗濯機、乾燥機の利用も寮費に含まれています。月に1回ほど寮全体の大きなパーティーが開催されますが、多くの学生が友人を一つのフラットに集めて自由にパーティーを開いています。

最寄駅の Ørestad まではおおよそ徒歩5分。シティセンターまでは電車で約 20 分、自転車では約 45 分かかりますが、大学(south campus)までは自転車では約 15 分という通学には最高のロケーションです。寮の目の前には Fields という大型ショッピングセンターがあり、必要なものはすべて揃えられるので非常に便利です。目の前がショッピングセンターという景観を心配していましたが、周りには公園や川もあり、周辺が自然保護地域に指定されているため、自然豊かな環境で生活できます。

個人的には、学生数が多い上にフラットを共有して生活するため、友達を作りやすく一番オススメの寮です。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院, 学内の診療所)

- なし
 あり (治療を受けた場所: _____)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
 (例: 留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)

- なし
 あり (問題の内容や相談した人等: _____)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

基本的に危険地域と呼ばれるほど治安の悪い場所はありません。そのため、日常的な防犯対策はしておらず、犯罪に巻き込まれたこともありませんでした。

しかし、自転車は鍵をかけていないと盗難に遭いやすいです。また、観光客で賑わうエリア (nyhavn など) ではリュックを前に抱えるなど防犯対策をした方がいいと思います。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮、大学はインターネット完備。カフェなどの飲食店やショッピングモールも基本的には Wi-Fi があり、街の一部では city wifi に接続できます。困った時はセブンイレブンに行けば確実に Wi-Fi に繋がります。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？ (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本の銀行口座に親が送金し、クレジットカードとデビットカードを併用して生活していました。

現地で銀行口座は開設していません。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

(1) デビットカード

— MUFG のデビットカードは現地の ATM で現金を引き出せるため、クレジットカードとデビットカード両方の持参をオススメします。デビットカードがあれば、デンマーク通貨を日本から持参しなくても大丈夫だと思います。

(2) 日本のお土産 (お箸、和菓子、TOKYO や JAPAN の文字が印字された商品など)

(3) 日本食の材料 (だしパック、料理酒、みりん、お餅など)

— お米はスーパーで安く手に入ります。日本食を振る舞う時に和食の味のベースとなるものさえあれば応用が利くので重宝しました。アジアンマーケットでも手に入りますが高価です。

(4) ヘアドライヤー (海外対応)

— 日本製のドライヤーを変換プラグのみで使用すると発火します。日本製のドライヤーを持参する場合は変圧器も必要です。

(5) 薬類 (頭痛薬、胃薬、解熱剤、冷えピタなど)

(6) 文房具

— ノートやファイルなどは値段が高いため日本から持参することをお勧めします。PC メインで授業を進めたため、個人的にノートは5~6冊あれば十分だと感じました。

(7) 歯ブラシ

— 外国の歯ブラシはめっちゃくちゃデカイです。磨きにくかったです。

(8) 薄着の服 (T シャツなど)

— 9 月前半までは半袖で過ごせたため、薄着も数枚持参したほうが良いと思います。

(9) ヒートテック、ウルトラエアダウン、手袋、マフラー

— ユニクロの防寒着類は重宝しました。手袋やマフラーはデンマークで調達すると費用がかさむので持参しましたが、真冬用の厚手のダウンは荷物になるため比較的物価の安いポーランドを訪れた際に購入しました。

(10) ファブリーズ

— ベッドマットや布団、コモンルームのソファなどを清潔にしたい方は必須です。デンマークにファブリーズたるものは販売されていませんでした。

※ 行きのスーツケースは出来るだけスペースを空けて置くことをオススメします。カイロやレトルト味噌汁は案外消費切れないので必要以上の持参に注意した方が良いでしょう。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

| | | |
|--|---|--|
| 1)留学先で取得した単位数合計 | | 本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。 |
| 20 単位 | | <input checked="" type="checkbox"/> 20 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:) |
| 2)履修登録の時期・方法及び履修制限 | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか? なし | | |
| 3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。 | | |
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | | 履修した授業科目名(日本語): |
| Analysis of Architecture and Urban Spaces | | 建築と都市空間の分析 |
| 科目設置学部・研究科 | Humanities(人文学部) | |
| 履修期間 | 2019 年秋学期 | |
| 単位数 | 15ECTS | |
| 本学での単位認定状況 | 10 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) | |
| 授業形態 | 講義、セミナー(チュートリアル、講義形式等) | |
| 授業時間数 | 1週間に 240 分が 1 回 | |
| 担当教授 | Martin Zerlang | |
| 授業内容 | <p>毎週金曜日午前 8 時から正午 12 時まで。</p> <p>基本的には 4cities という留学プログラム(ヨーロッパの大学院生が 4 つの都市で半年間ずつ留学し、街づくりについて学ぶ)の院生向けに開講された授業であったため、学士課程で交換留学生として履修していたのは私だけだった。(授業によりますが、申請すれば他学部であれ、院生向けであれ通してくれる場合が多いです。)前半2時間は教授による全体講義。後半2時間は A(10時-12時)B(13時-15時)の2グループに別れてのセミナー形式。全体講義では主にデンマークの都市開発や建築物について、デンマークの歴史や気候、文化にも触れながら学ぶ。比較対象としてヨーロッパの都市や建築についても学んだ。留学生がほとんどなので、それぞれのバックグラウンドも共有しながら、街や建物の在り方についてディスカッションを多く重ねた。セミナーでは毎授業2、3人の学生がその回のトピックに沿った内容でオリジナルのプレゼンテーションをし、それを元にディスカッションを行う。第一回の授業で誰がどのトピックでプレゼンテーションをするのかを決める。授業外では 3 回ほど 美術館などの有名建築物や建築会社を訪れる機会がある。</p> | |
| 試験・課題など | <p>事前リーディング課題として3~5本程度の文献が出される。</p> <p>試験は学期末に18-20ページの論文を提出する。</p> | |
| 感想を自由記入 | <p><自分の興味を深められた></p> <p>自分が一番学びたかった街づくりについて、マスターのレベルで学ぶことができたのは、非常に有意義であった。知識量の多い大学院生の中で日本人も自分だけという環境がとても刺激的で、大きく成長できた。また、少人数制(各セミナー15人程度)で周りの留学生もとてもフレンドリーであったため、和やかな雰囲気楽しく受講することができた。授業は週に1度であるものの、事前リーディング課題がかなりのページ数になるため、手持ち無沙汰に感じることは無かった。セミナーでのプレゼンも学生、教授共に温かく耳を傾けてくれるため、英語プレゼンの良い実践の場となった。学期末の論文は、ある程度自由なテーマ設定ができ、自分の関心事について書けるため個人的には楽しく進めることができたが、10ページ超の英文を書くことに慣れていなかった私は体力勝負であると感じた。遠足ではデンマークを代表する KOBE という建築会社を訪れた。実際にセントラルステーション周辺やビル設計プロセスについて社員の方の説明を受け、生きた知識を得ることができた。</p> | |

| | |
|--|--|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
| How can We achieve Sustainable Development | 持続可能な開発とは |
| 科目設置学部・研究科 | Humanities (人文学部) |
| 履修期間 | 2019 年秋学期 |
| 単位数 | 15ECTS |
| 本学での単位認定状況 | 10 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 講義、グループディスカッション(チュートリアル、講義形式等) |
| 授業時間数 | 1週間に 105 分が 1 回 |
| 担当教授 | Bo Fritzboeger |
| 授業内容 | 毎週水曜日 9 時 15 分から 11 時まで。基本的には留学生のみに開講された授業。(比較的単位を取りやすいという噂の danish culture course の授業です。)メインは全体(約 60 人)で教授のプレゼンを聞く講義形式。講義の合間に5~7 人単位で分けられたグループでのディスカッションが行われる。教授が出す質問に対してグループで話し合った後、全体に還元し全体でディスカッションを行う。講義のテーマはデンマークの自然、食、動物、エネルギーなど環境に纏わるものが多く、社会のサステナビリティについて環境面から考える。広めの教室でグループごとに集まって座の上、教授との距離感も近いのでコミュニケーションが生まれやすく、講義中にも活発に質疑応答が行われていた。遠足が 1 度あり、デンマーク西部の農場を訪れる。(他の授業と重なり、私は参加できませんでした。) |
| 試験・課題など | 事前リーディング課題として指定のテキストおよび追加文献が2、3本出る。試験は学期末に11-16ページのレポートを提出する。最終提出の1、2ヶ月ほど前に synopsis (2ページ)というレポートの大筋を示すペーパーを2回提出する。(synopsis の提出をしなかった場合は最終レポートを16-20ページ書かなくてはならない。) |
| 感想を自由記入 | 〈デンマークの環境的側面を大まかに学べた〉全体人数が多く、ほとんどが交換留学生であったため和気あいあいとした雰囲気だった。日本人留学生も比較的多かった。グループディスカッションでは初めはアメリカ、イギリス、オーストラリアからの留学生に圧倒されあまり発言できなかったが、次第に質問を投げかけてくれたり意見に耳を傾けてくれるようになり、ディスカッションを重ねるにつれ馴染んでいくことができた。講義ではデンマークのエネルギー生産や養豚産業などを軸に社会のサステナビリティについて考えさせられた。環境保全の面でデンマークの先進具合に驚かされることも多々あったが、一方でまだまだ課題があることも知った。また、講義を通して社会の持続可能性について主体的に考えるようになり、日本社会についても新しい視点で見つめ直す良いきっかけとなった。 |

| | |
|---|--|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
| Danish Language Course beginners' level 1 | デンマーク語講座(初心者レベル1) |
| 科目設置学部・研究科 | Humanities |
| 履修期間 | 2020 年春学期 |
| 単位数 | 7.5ETCS |
| 本学での単位認定状況 | 0(中断)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 講義、ペアワーク(チュートリアル、講義形式等) |
| 授業時間数 | 1週間に155分が2回 |
| 担当教授 | Jonas Egholm |
| 授業内容 | 毎週月曜日と水曜日の 16 時 15 分から 18 時 50 分まで。指定のテキストおよび kahoot などのオンライン媒体を使って、デンマーク語を学習する。教授により授業の進め方は随分と違うようだが、私の担当教授は座学よりも実際に会話することを重視していたため、ペアワークや教授対生徒のコミュニケーションが多かった。また、基本的に教授はデンマーク語で話し続けるため時折混乱が生じたが、分からないときは質問すると英語でわかりやすく説明してくれた。 |
| 試験・課題など | 課題は毎授業後に danish to go というオンラインのテキストで指定された exercise を行う。試験は途中で中断したため受けたことはないが、筆記と口頭の試験が課される予定だった。 |
| 感想を自由記入 | 〈友達を作る絶好の機会〉他の授業よりも授業頻度が高い上に、言語を学ぶという点で必然的にコミュニケーションが多くなるので、教授や他の留学生とも仲良くなりやすく、圧倒的に友達を作りやすい。私自身もこの授業を通して沢山の友達を得ることができた。デンマーク語は英語文法とドイツ語発音を合わせたものと表現されるように、文法は英語と似ており、発音はドイツ語に似ている。そのため、多くの学生が理解はできても話せないという壁に直面し挫折する。授業や宿題だけでは習得に至らないので、デンマーク語習得の鍵はどれだけ自習学習に力を入れられるかであると感じた。デンマーク語自体は話せずとも生活に支障はきたさない上、買い物での受け答え程度ならすぐにできるようになるため、趣味程度に友達とわいわい新しいことを学ぶことができたという点で非常に楽しかった。また英語を共通言語として、新しい言語をあらゆる国籍の学生と学べる環境はとても新鮮で魅力的だった。 |

| | | | |
|---------------------|---|-----------------|--|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | | 履修した授業科目名(日本語): | |
| Danish society | | デンマーク社会学 | |
| 科目設置学部・研究科 | Social Sciences | | |
| 履修期間 | 2020 年春学期 | | |
| 単位数 | 7.5ECTS | | |
| 本学での単位認定状況 | 0(中断)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) | | |
| 授業形態 | 講義、グループディスカッション(チュートリアル, 講義形式等) | | |
| 授業時間数 | 1週間に105分が1回 | | |
| 担当教授 | Yosef Kamal Ibssa | | |
| 授業内容 | 毎週水曜日午前 10 時 15 分から正午 12 時まで。 毎週違うゲストティーチャーがテーマに沿って講義を行う。授業の進め方は回ごとのゲストティーチャーによって異なるが、座席が近い人とのグループディスカッションやクラス全体でのディスカッションが頻繁に行われた。テーマはデンマークの福祉システムを中心に労働市場や雇用問題、ジェンダーや飲酒文化など多岐に渡る。またコペンハーゲンで freetown として知られる christiania への遠足も予定されていた。 | | |
| 試験・課題など | 事前リーディング課題としてオンライン上にテーマに関連する文献が3-5本あげられる。 試験は学期末に10ページのレポートを提出する。最終提出の1、2ヶ月ほど前に synopsis(レポートの大筋を示すもの)を提出する。 | | |
| 感想を自由記入 | 〈デンマークの福祉について深く学べた〉 コロナにより授業が中断されたため、結局 4 回ほどしか授業を受けることができなかったが、全ての回で異なるゲストの講義を聴くことのできるプログラムは、毎授業が新鮮で面白かった。また内容も充実しており、デンマークの福祉社会について比較的深く学ぶことができた。テーマも多様性があったため、予定通り受講できていればデンマーク社会について多角的に知識を得られたと思う。 | | |

| | | | |
|--------------------------------------|--|-----------------|--|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | | 履修した授業科目名(日本語): | |
| Danish Architecture and Urban Design | | デンマーク建築と都市デザイン | |
| 科目設置学部・研究科 | Humanities | | |
| 履修期間 | 2020 年春学期 | | |
| 単位数 | 15ECTS | | |
| 本学での単位認定状況 | 0(中断)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) | | |
| 授業形態 | 講義形式(チュートリアル, 講義形式等) | | |
| 授業時間数 | 1週間に105分が1回 | | |
| 担当教授 | Per Methner Rasmussen | | |
| 授業内容 | 毎週火曜日 16 時 15 分から 18 時まで。 コロナにより授業が中断され、結局 5 回ほどしか授業を受けることができなかったが、実際に建築家として働く外部の方々ゲストティーチャーとして講義を行った。アートや自然環境、国民性などあらゆる事柄と関連づけてデンマークの建築や街づくりについて学ぶことができる。授業外では、ルイジアナ美術館とスウェーデンのマルメという都市への遠足が予定されていた。 | | |
| 試験・課題など | 事前リーディング課題としてテキストの指定された章を読む。 試験は学期末に11-15ページのレポートを提出する。最終提出の1、2ヶ月前に synopsis(レポートの大筋を示すもの)を提出する。 | | |
| 感想を自由記入 | 〈多方面にデンマークの街づくりを学べる〉 この授業も毎週とまではいかずとも、建築や街づくりに従事する多様な方のお話を聴くことができるので魅力的だった。また、デンマークの街づくりについて現在実際に行っている方の講義を聞くことができるのは、興味を掻き立てられた。個人的に最も面白かったのは landscape architect という街の景観にアプローチする建築家の講義であった。木一本を植えるのにも周辺建物との位置関係や陽の光による影を意識し、街の景観がいかに美しく見えるかを吟味する姿勢が、いかにもデンマークらしく印象的だった。 | | |

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など

3)就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前, あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
※就職活動をこれから始める場合は, 差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い, 留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
※就職活動をこれから始める場合は, 留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

| | |
|----------------|---|
| 2018年 1月～3月 | |
| 4月～7月 | <p>4月:和泉キャンパスでの留学フェス 5月:中野キャンパスでの長期留学説明会 6月:E F の短期語学留学申し込み 7月:アゴスジャパンで TOEFL 模試受験</p> <p>※国日の TOEFL preparation を履修していました</p> |
| 8月～9月 | <p>8月:アメリカ、サンタバーバラでの語学留学(2週間) 9月:TOEFL iBT 受験</p> |
| 10月～12月 | <p>11月:大学間留学志願書の作成、提出 12月:大学間留学の面接試験</p> |
| 2019年 1月～3月 | <p>1月:大学間留学学内審査合格者オリエンテーション 2月:トビタテ留学 JAPAN 申請 3月:大阪に帰省</p> <p>※ひたすらバイトをして貯金をつくる!</p> |
| 4月～7月 | <p>4月:コペンハーゲン大学への留学申請手続き 5月:歯医者で渡航前最終検診 寮の目処を立てる トビタテ留学 JAPAN 面接対策(落選しました) 6月:ビザ申請 留学願、保証人同意書、履修計画書などの提出(明大に) コペンハーゲン大学の履修登録 寮の申請 航空券購入 協定留学生者出発前オリエンテーション 7月:海外旅行保険加入 早稲田大学でのグローバル有力企業セミナーに参加 歯医者で親知らず2本の抜歯(急遽) 渡航前オリエンテーション</p> <p>※引き続きバイトをして貯金作りに勤しむ!</p> |
| 8月～9月 | <p>8月前半:大阪に帰省 コペンハーゲン大学の学生サポータープログラム申請 コペンハーゲンに留学していた先輩(他大学)にお話を聞く</p> |
| 10月～12月 | <p>10月:学生団体(SDGs students ambassador)に参加 ボランティア団体(Cph volunteers)に参加 Japanese café に参加 CPR ナンバー再申請(書類不備) 明大ゼミ申請 ヨーロッパ旅行 11月:synopsis 提出 学生団体のイベント 12月:試験期間 ヨーロッパ旅行</p> |
| 2020年 1月～3月 | <p>1月:引き続きヨーロッパ旅行 2月:コペンハーゲン大学履修登録 3月:ダンスレッスン コロナにより全授業休講 急遽帰国</p> |
| 4月～7月 | |
| 8月～9月 | |
| 10月～12月 | |

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私がコペンハーゲンへの留学を志した主な理由は、北欧の建築やデザインについて現地で学びを得たかったからです。そしてその根底には、大学生活を漫然と過ごすのではなく、自分の興味を追求し、ある種の専門性を身につけたいという思いがありました。結果的には自分の専門分野と呼べるほどの知識や専門性を身につけるに至りませんでした。自分の関心事に正面から向き合う経験を通して、改めて学びの楽しさを再認識することができました。そして、沢山の初経験から新たに自分の興味分野を発見し、将来進みたい方向性を定める大きなきっかけとすることができました。コペンハーゲン大学は留学生の受け入れ態勢が確立されている他、留学生の国籍も偏りがなく様々であるため、非常に充実した留学生活を送ることができる場所です。この恵まれた環境を最大限に活用するためにも、明確な目的意識と向上心を持って留学に挑んで欲しいなと思います。

また、留学先に関わらず長期留学は様々な国への旅行やあらゆる国籍の人々との交流を通して、自身の視野を広げ、柔軟な思考力を身につける絶好のチャンスです。さらに自ら進んでアクションを起こしていかなければならないため自己決定力も磨くことができると思います。この先、ただただ自分の興味のあることについて、自由に学べる機会はそうそう無いと思います。学生という最も自由の利く期間を上手く活用して、今しかできない挑戦をして欲しいです。個人的にはやはり国民性といい街並みといいヨーロッパの真ん中という地理的条件といい、デンマークは本当に素敵な国なので心底おすすめします。ぜひ、コペンハーゲン留学の詳細を知りたい方はお気軽にご連絡ください！